

八木田恭輔教授 略歴・業績目録

I 略 歴

1938年 2月23日	熊本県山鹿市鹿央町に生まれる
1953年 4月	熊本県立山鹿高等学校入学
1956年 3月	熊本県立山鹿高等学校卒業
1956年 4月	日本体育大学体育学部体育学科入学
1960年 3月	日本体育大学体育学部体育学科卒業
1960年 4月	大阪工業大学助手（1965年 3月まで）
1965年 4月	大阪工業大学専任講師（1967年 3月まで）
1967年 3月	大阪工業大学依願退職
1967年 4月	大阪経済大学教養部専任講師（1972年 4月まで）
1972年 5月	大阪経済大学教養部助教授（1981年 8月まで）
1977年 4月	大阪経済大学教養部副部長（1978年 3月まで）
1981年 9月	大阪経済大学教養部教授
1985年 4月	大阪経済大学教養部長（1987年 3月まで）
1985年 4月	学校法人大阪経済大学評議員（1987年 3月まで）
1987年 7月	学校法人大阪経済大学評議員（1996年 7月まで）
1998年 4月	オーストラリアメルボルン大学スポーツトレーニング研究所にて在外研究（1999年 3月まで）
1991年 4月	大阪経済大学教養部参与（1993年 3月まで）
1993年 4月	学校法人大阪産業大学評議員（1999年 3月まで）
1993年 5月	大阪経済大学学生部長（1995年 4月まで）
2002年 4月	大阪経済大学人間科学部設置に伴い同学部教授
2002年 7月	学校法人大阪経済大学理事（2006年 3月まで）
2006年 7月	逝去（2006年 7月16日）

II 業 績 目 録

I 著 書

1. 健康・スポーツの科学（共著）1994年 5月（株式会社明伸社）
2. やさしいスチューデントトレーナーシリーズスポーツ社会学（編）2002年 6月 嵯峨野書院

II 学術論文

1. 「洋弓の適中率を高めるための矢の選び方に関する一考察 (Arrow Spine に関するもの)」(共著)『大阪工業大学紀要人文編』第7巻第3号 1962年
2. 「洋弓の適中率を高めるための一考察 (その2 G, S, R による感情, 情緒の変化)」(共著)『大阪工業大学紀要人文編』第8巻第1～2号 1964年
3. 「イメージ表出によるスケート競技者の精神電流反応現象について」(単著)『大阪工業大学紀要人文編』第9巻第1号 1965年
4. 「運動選手の精神電流現象に関する研究——性格と精神電流現象の反応度——」(単著)『私学研修』第32号 1966年4月
5. 「本学学生の身体に関する測定結果について (第2報)」(共著)『日本体育学会大阪支部会誌』第4号 1966年4月
6. 「本学学生の身体に関する測定結果について (第2報)」(共著)『日本体育学会大阪支部会誌』第6号 1968年4月
7. 「ベンチプレスによるトレーニング効果の筋電図学的研究」(共著)『体育学研究』第1巻第3号 1977年9月
8. 「ラグビースクラムにおける Shoving Power についての一考察——測定装置の試作とその応用——」(共著)『大阪経大論集』第127・128号 1979年3月
9. 「現代スポーツについて——体育社会学的立場から——」(単著)『大阪経大論集』第134号 1980年3月
10. 「“Acute Effects of Marathon Running on Postmarathon Maximal Oxygen Uptake” (マラソンが走後の最大酸素摂取量に与える影響について)」(共著)『The Annals of Physiological Anthropology』Vol. 7, No. 4 1988年10月
11. 「マラソンレースが市民ランナーの呼吸循環機能に及ぼす影響」(共著)『大阪体育学研究』第27号 1989年4月
12. 「新しい大学体育の試み——理論と実技の統合授業が大学生の意識と行動に及ぼす影響について——」(共著)『教育医学』第40巻第1号 1994年8月
13. 「一流女子長距離選手における心エコー図所見の特徴」(共著)『大阪体育学研究』第33号 1994年12月
14. 「Effect Walking with Hand Weights on Speed at Similar Target Heart Rates」(共著)『大阪経大論集』第46巻第6号 1996年3月
15. 「間欠の高強度の運動中における果糖飲料摂取の生理学的応答——刺激先行提示効果の機構——」(共著)『大阪教育大学紀要』第IV部門 教育科学 第47巻第1号 1998年8月
16. 「生活習慣病危険因子に対する長期運動処方プログラムの効果——中高齢女性肥満者の運動処方——」(共著)『大阪経大論集』第50巻第6号 2000年3月
17. 「オーストラリアのスポーツ環境——2000年オリンピックを迎えた指導者体制と日本との現状比較について——」(単著)『大阪経大論集』第51巻第5号 2001年1月

18. 「市民ランナーにおける HRT の測定と活用」(共著)『ランニング学研究』第12巻 第1号 2001年6月
19. 「第18回全日本大学女子駅伝のレース状況および結果に関する一考察」(共著)『大阪教育大学紀要』第IV部門 教育科学 第52巻第1号 2003年9月
20. 「超音波骨評価装置を用いた女子短期大学生における右踵骨骨密度と体格・生活習慣等の関連」(共著)『教育医学』第49巻第2号 2003年9月